

山梨県の入園状況

岩間 松栄

一、我國の入園状況について

私共の幼稚園に於ける入園方法は入園受付の掲示を致しましてから入園願書の受付順に採り定員になり次第打ち切ります（特に身体的に欠陥のない限り）昭和二十九年年度迄の入園児の募集人員は一年保育百名、二年保育四十名となっており毎年ごと定員数をこえており何とかして是非入園させてほしいと云う方も随分ありますがお断りしている様な状態で何か事故があつて止めた場合のみ補欠をとっておりましたがこの昭和三十年年度に於ける入園状況は毎年の定員数に七、八名不足という所ですので他の幼稚園の状況についてもどの様な実状か調べてみましたと同様に定員数に不足というのが殆んどでした子供の教が今年からぐつと減つている一方、保育園が乱立し一般大衆の幼稚園と保育園についての認識がひ

低く、幼稚園と保育園は同じだという考えを持つており、幼稚園に入園すべき子供が保育園に入園してしまつたと云う実例が多く、之が今年度幼稚園の入園児減少と云う原因になつたと思ひます。

二、二、三年來の県内幼稚園

入園状況について

山梨県に於ては特殊の宗教關係の幼稚園及公立幼稚園（山梨県では只一つ）では特に智能テストを中心としたテスト法及身体検査、父母の宗教等に依り入園児を決定している所も一、二ありますが、之等を除く他幼稚園は矢張り私共の園同様願書の受付順から定員数迄を採つている幼稚園が殆どです。

入園状況も私共の園、同様で二十九年年度迄よりも三〇年度の入園児数が著減しております。

（城北幼稚園）

岩手県の幼稚園

森 純吾

岩手県の幼稚園教育は、幼児教育連盟や私立学校協会等の努力にも関わらず、關東以西地方に比して極めて低位にある。岩手県の面積は四国四県とほぼ同じ位であるが、その幼稚園の数は、本年四月一日現在で私立三一園、公立七、国立一で計三九園に過ぎない。その設置分布は極めて稀薄であると云える。明治年間には於ては私立一、大正年間に於ては私立七園が出来ただけである。残りの三一園は、昭和になつてからのものである。そのうち昭和二十七年までに出来たものは、私立六、公立一、国立一園のみであつて、残りの公立六園は昭和二十八年以後であつて、私立の一七園も昭和二十七年以後に出来たものである。

岩手県に幼稚園の創設されたのは明治三十七年であるが、それ以來昭和二十七年まで約五十年間幼稚園の出来た数は二十七園で、そのうち正式に認可を受け現存しているものは